

対象年度	令和 7年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名	市道0109号線舗装整備・街路灯LED化事業（都市構造再編集集中支援）						予算事業名	市道0109号線舗装整備・街路灯LED化		
予 算 科 目	会計	01	款 08	項 02	目 02	事業 3001	要求区分 経常経費	根拠法令	道路法、道路構造令	
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう 快適で住みやすいまちづくり 道路ネットワークの形成						事業の区分	主要事業		
							担当課係等	土木課		
								管理係・維持係		
事業期間	継続 （令和 2年度～令和 8年度）									
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
新庁舎へのアクセス向上を図りつつ、新庁舎周辺とJR結城駅、結城駅北部市街地を結ぶシブシブ的な道路の整備を目指す。 また、街路灯をLED化することにより、電気料金の節約やランプの交換頻度の減少等ランニングコストの低下を目指す。						都市再生整備計画に基づき、新庁舎移転に伴う道路環境の整備とアクセス向上を図る。また、省エネやコスト削減の観点から、全国的にLED化が進んでいる。				
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】						【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】				
【令和3年度～6年度実施分】都市再生整備計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用し、令和3年度から令和6年度の4ヵ年にて、市道0109号線の歩車道の改修と土木課管理の街路灯をLED化する。 ・市道0109号線（中央町一丁目外）L=900m ・街路灯LED化工事 約20基（年間）						道路の利用者。				
【令和7年度～8年度追加分】都市再生整備計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用し、令和7年度から令和8年度の2ヵ年にて、市道0109号線の歩車道の改修とLED街路灯を整備する。 ・市道0109号線（中央町一丁目外）L=220m ・街路灯LED化工事 16基追加						【事業をとりまく環境の変化】 市道0109号線整備後、経年劣化による車道の傷みが顕著であり、歩行者の通行や沿線住民・店舗利用者の利便性向上のため、街路樹等の歩道施設の見直しが必要となっている。 また、LED化に関しては、経済産業省「新成長戦略」「エネルギー基本計画」にある柱の一つとしてLED照明等を2020年までに70%で100%、2030年までに100%で100%普及させることを目標とする等、LED化に向けた動きが盛んとなってきている。				
【令和 7年度 事業内容】			【令和 8年度 事業内容】			【令和 9年度 事業内容】				
道路改修設計委託			道路改修工事 街路灯LED化整備工事							

■事業費

		R05年度	R06年度			
財源内訳	国庫支出金	27,395	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	28,000	0			
	その他	0	0			
	一般財源	5,413	0			
歳入計（千円）		60,808	0			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	14 工事請負費	60,808	0			
歳出計（千円）（A）		60,808	0			
伸び率（％）			皆減			
備考						

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	市道0109号線歩車道改修延長	m	目標	450.00	900.00	0.00
	車道部（延長）		実績	510.00	0.00	0.00
	街路灯LED化数	基	目標	13.00	44.00	0.00
			実績	18.00	0.00	0.00
成果 指標	進捗率（市道0109号線・街路灯LED化）【～令和6年度】	%	目標	61.00	100.00	0.00
	事業費ベース		実績	59.57	0.00	0.00
	進捗率（市道0109号線・街路灯LED化）【令和7年度～】		目標	0.00	0.00	10.00
	事業費ベース		実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	経年劣化による歩車道部の傷みが顕著である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	道路管理者が実施することが責務である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	歩車道の改修により維持管理費の軽減を図る。また、街路灯のLED化は、従来の照明より耐久性、電気消費量とも優れており、コストの低減が図れる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	対象者である道路利用者に広く便益を提供しており、結城駅南の骨格道路であることから道路利用者にも大きな偏りがないと考えられる。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	既存施設改修のため、整備方針決定に時間を要するため。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	要望額に対して、内示率が低い場合があり、事業に遅れが生じる可能性がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
国庫補助金を活用し、市道0109号線歩車道改修や街路灯のLED化が大幅に進捗することは大きな利点である。既存施設改修のため、民地との段差が生じるなどバリアフリー化に制約もあるが、できる限り改修時に配慮したい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
事業計画に基づき、改修工事を進めていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 経年劣化した歩車道に対し、景観を考慮しながら整備していく。また、LED照明は電力消費量が少なく高寿命であることから、維持管理費の低減だけでなく、環境にも低負荷となる。全国的にLED化が進んでいることから、補助金等を活用しながら、LED照明の設置を進める。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	